

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科		2024年度 授業計画							
時 期	2年C巡	単元	実習	教科名	エンジン脱着				
科 目	自動車整備作業	教科書等	2級ガソリン自動車	発行日					
総 時 限	23時限 (36時間)	持 参 品		教科担 当	教科担当				
<b>1. 実務経験のある教員による授業科目</b>		<b>該当</b>		<b>非該当</b>					
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの分解・組立・点検等について指導する。									
<b>2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)</b>									
1、車両からパワートレインASSY脱着～エンジン始動させる。									
<b>3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全にパワートレインの脱着が行える</li> <li>・脱着に伴うエアコンガスの抜き取り、充填作業を正しく行える。</li> <li>・脱着に伴う油脂類の抜き取り、補充、調整作業ができる</li> <li>・補機ベルトの脱着が時間内に行える</li> </ul>									
<b>4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)</b>									
実技試験50点、筆記試験20点、行動評価15点、レポート評価15点の合計点で評価する。									
一級自動車工学科は70点以上で合格とする。									
自動車整備科は60点以上で合格とする。									
自動車整備・ボディリペア科は60点以上で合格とする。									
自動車整備・カスタマイズ科は60点以上で合格とする。									
国際自動車整備科は60点以上で合格とする。									
<b>5. 準備学習</b>									

時 期	2年C巡	単元	実習	教科名	エンジン脱着
<b>7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）</b>					<b>8. 教科書、資料、備品類</b>
時限	主な授業内容				資料、備品類
1	教科概要、安全作業について説明				Z33 フェアレディーZ
2	■リフトアップ、燃料配管取り外し、冷却水抜き取り				シート・カバー
3	■P/Sフルード、A/Cガス抜き取り、各ホース類分離①				フェンダ・カバー
4	■P/Sフルード、A/Cガス抜き取り、各ホース類分離②				足マット
5	■ハーネス類取り外し、マフラー、プロペラシャフト、取り外し				実習ノート
6	■サスペンション取り外し①				オイル受け
7	■サスペンション取り外し②				冷却水受け
8	■本体よりユニットを切り離す①				ゲージマニホールド、ガス回収機
9	■本体よりユニットを切り離す②				作業台、脚立
10	ユニットASSYのスケッチ、各センサの取付け位置、役割、名称確認				真空ポンプ、デジタルスケール
11	■本体にユニットを組付け①				吊りバンド
12	■本体にユニットを組付け②				ラジタン（類似品含む）
13	■サスペンション組付け①				A Tクーラーホース栓
14	■サスペンション組付け②				プロジェクター
15	■マフラー、シャフト類組付け				スクリーン
16	■各配管、ホース組付け				割りピン①
17	■油脂、ガス類注入①				割りピン②
18	■油脂、ガス類注入②				A T F
19	■油脂、ガス類注入③				合いマーク用マーカー
20	■完成、出来栄えチェック				ディープソケット（19mm）
21	補機ベルト脱着練習①				木片
22	補機ベルト脱着練習②				テストハンマー
23	■期末試験				トルクレンチ
24					じょうご
25					ウエス
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					

■ : 対面授業

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科

2024年度 授業計画

時 期	2年C巡	単元	実習	教科名	エンジン脱着
-----	------	----	----	-----	--------

#### 7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	リフト操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目視で車周辺に人や物が無いかを確認する</li> <li>・大きな声で安全を確認してから操作をする</li> </ul>		
2	エンジン始動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始動の際は誤発進防止の為、タイヤが少し浮いた状態で行う</li> <li>・始動時はエンジンルーム付近に人が居ないことを確認する</li> <li>・大きな声で安全を確認してから始動する</li> </ul>		
3	フロンガス回収機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧ガス取扱いの為、ガス漏れに注意する</li> </ul>		
4	ユニット脱着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業台の中心に安定した状態で降ろす</li> <li>・前後左右に人を配置して安全を確認する</li> </ul>		

#### 8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室